

横転したD51機関車。水流で地面もゆがむ



遺骨や位牌(いはい)を持って歩く少女



2つの台風の進路



機織山から見た一ノ関駅。線路の先は水没している

堤防決壊

1947.9.15
カスリン台風

長雨で磐井川が記録的な増水。堤防が破れ、濁流がまちを飲み込んだ。

長雨のカスリン台風

昭和22年9月12日に発生したカスリン台風は、小笠原西方を北上。温暖前線を刺激し、14日から16日にかけて日本各地で大雨を降らせた。

市内で最も激しく雨が降ったのは15日。12日から15日までの総雨量は巖美で349.8ミに達した。水位の上昇が激しかったのは狐禅寺。16日の17時には、最高水位16・89ミを記録した。この水位を超えたことは今だにない。



五十人町付近。屋根の上にはふとんが敷かれている

長雨による増水に耐えきれず、磐井川両岸の堤防が決壊したのは15日夕方。氾濫した濁流が一関の市街地を飲み込んだ。山目の花川戸(現在の青葉一丁目、中央町)などを中心に、100人が亡くなった。県内の死者130人に対し、一関の犠牲者が最も多かった。

壊滅

CHAPTER 1 [Kathleen&Ione]

カスリン・アイオン台風の猛威

山津波襲来

1948.9.16
アイオン台風

各所でせき止められた土砂や樹木が土石流となって市街地を襲った。

豪雨の影響で、磐井川流域には高さ5ミ以上の土砂崩れが739カ所で発生した。せき止められた水が土砂や樹木と共に押し流される土石流(山津波)となつて下流に一気に押し寄せ、上の橋や磐井

川堤防を破壊。氾濫した濁流が再び市街地を急襲した。アイオン台風による一関の死者・行方不明者は473人にのぼり、前年をはるかに上回った。アイオン台風は、全国的な被害は少なかったものの、一関地方は最も悲惨な状況だった。その惨状は「一関全滅に瀕す」(河北新報・昭和23年9月18日)と報じられた。

集中豪雨のアイオン台風

カスリン台風から1年後。昭和23年9月15日から17日にかけて、アイオン台風が列島を襲った。この影響で、宮城県内陸から岩手県南東部にかけて狭い帯状の豪雨地帯が発生。市内では16日15時頃から強烈な雨が降り続いた。磐井川は同日18時頃から急激に増水。20時までの間に1時間あたり約2ミ水位が上昇した。一関観測所の総雨量(15日、17日)は403.2ミ。狐禅寺の最高水位は14・89ミを記録した。

カスリン・アイオン台風による被害		
	カスリン台風	アイオン台風
当時の人口	34,479人	35,011人
死者	100人	234人
行方不明者	0人	239人
り災者	21,725人	19,349人
流失家屋	131戸	468戸
全壊家屋	200戸	334戸
半壊家屋	719戸	901戸
床上浸水	3,234戸	1,837戸
床下浸水	31戸	334戸
田畑の冠水	1,218ha	295ha

(出典：一関市水害復興誌)

川堤防を破壊。氾濫した濁流が再び市街地を急襲した。アイオン台風による一関の死者・行方不明者は473人にのぼり、前年をはるかに上回った。



北上川を38キ漂流
忘れられぬ恐怖の記憶

千葉貞子さん

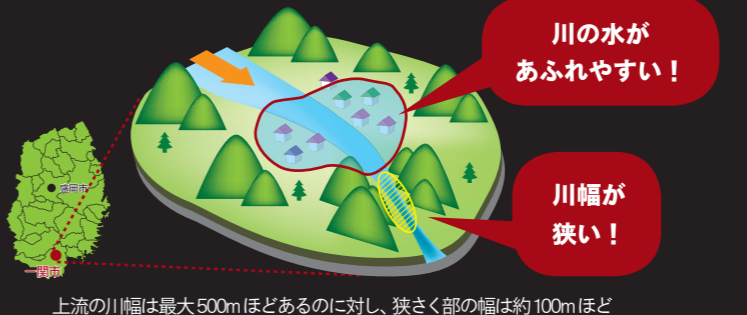
ちば・さだこ
77歳 宮前町

アイオン台風のときは、下街(現磐井町)の父が勤める製材所の事務所に、家族7人で暮らしていました。夕方、磐井川が増水したので全員で工場の屋根へ上がりました。すぐに濁流が押し寄せ、屋根ごと流されました。途中、家族が水中に投げ出されたり渦に飲まれたりしました。私も渦に巻き込まれ、気付くと一関から38キ下流の宮城県登米市の岩場に。ぬるぬるした岩にしがみついで、一人で明け方まで震えて過ごしました。あのときの不安と恐怖は忘れられません。私、父、長兄は助けられました。母は三関で遺体となって見つかりました。次兄と2人の弟は行方不明のままです。

Point 一関は水害の常襲地帯

一関地域は、古くから洪水が絶えない地域だった。その原因は、狐禅寺付近から宮城県境まで約26キ続く川幅の狭い区間(狭さく部)があるため。最も狭い所の川幅は、100ミほどしかない。また、上流に比べて勾配が緩く、水を流す能力がとても

弱い。狭さく部で流しきれない水が、その手前の一関地域や平泉地域へあふれ出して洪水を引き起こしている。北上川や多くの支川が流れている一関市では、水害のないまちをつくること(治水対策)は、最も大切な目標の一つとなっている。



上流の川幅は最大500mほどあるのに対し、狭さく部の幅は約100mほど

一関地方の主な水害の歴史		
時期	原因	内容
明治43年 8月～9月	3つの台風	北上川流域で大洪水に。国の直轄事業が始まる契機になった
昭和22年 9月	カスリン台風	狐禅寺の水位は歴代最高の16・89m。磐井川の氾濫で100人が犠牲になった
昭和23年 9月	アイオン台風	前年に続き磐井川が再び氾濫。死者・行方不明者473人の大惨事
昭和56年 8月	台風15号	一関地域を中心に大きな被害。北上川の水位は狐禅寺で12・51m
平成2年 9月	台風19号	田畑が冠水するなど北上川の各地域で被害が発生した
平成10年 8月	前線+台風4号	6日間も続く大雨で大規模な浸水被害。北上川の水位は狐禅寺で11・14m



「助けてけろ」
必死に救いを求める声

佐藤靖雄さん

さとう・やすお
83歳 三関

当時は狐禅寺に住んでいました。カスリン台風では厩舎が水に流されました。アイオン台風のときは、18時頃からもすごいスピードで磐井川が増水。家の前まで川になりました。私は家族と舟に乗って避難しました。家の近くで、サイカチの木につかまっている子供たち6人を発見し、何とか陸に上げました。濁流に飲まれている人たちは、水面から首だけを出して必死に材木にしがみついでいました。3ミ以上の大波が見えたので、救うことはできませんでした。「助けてけろ」という声が今でも耳に残っています。